



田中 立一 議員

質問 文化振興について

市民会館は間もなくリニューアルオープンを迎え、市の文化振興の拠点施設として、これからの市民会館事業に市民からも期待の声が寄せられてる。

市民会館自主事業の選定と市民ニーズの把握について、市民会館の管理・運営について伺う。また、青海総合文化会館、能生マリンホールの修繕予定についてはどうか。

▼教育長答弁

市民会館事業は、事業実施時のアンケート結果等を参考に選定している。管理運営については、費用対効果、指定管理料や事業評価等を調査し、平成29年度に向けて指定管理者制度への検討を進めていく。

青海総合文化会館については、空調設備を改修する予定であり、能生マリンホールは大きな改修の予定はない。

質問 クアオルトに見る「健康ウォーキング」について

クアオルトはドイツ語で、長期滞在型の健康保養地・療養地を意味し、ドイツでは温泉や海、森林などを利用した自然療法が広く行われており、その治療や予防に適した場所には、厳格な審査基準の下でクアオルトの認証が与えられる。

日本には、2008年に山形県上山市で、里山や温泉といった地域資源を活用したクアオルトによるまちづくりがスタートしており、今年1月29日には加盟5市による「日本クアオルト協議会」が設立されている。

ジオパークを組み入れた「糸魚川型クアオルト」による健康ウォーキングはどうか。

▼市長答弁

現在、笹倉温泉がノルディックウォーキングのイベントを実施しており、今後も、糸魚川世界ジオパークの広大な自然や美しい景観を生かして、健康づくりにもつなげる旅行商品の開発を進めていく。

その他質問項目 ●農政改革と農家の所得維持安定、向上策について



古川 昇 議員

質問 介護報酬改定・介護事業計画について

厚生労働省は2月6日、社会保障審議会の分科会で2015年度から3年間に介護サービスを提供する事業者を支払われる介護報酬を決め、事業者を支払う介護報酬の改定率を全体で2.27%引き下げるとしており、引き下げが実施されれば事業者は全体に減収となり、提供するサービスの低下を招くことが懸念される。

どのように報酬改定を捉え、市の施設・在宅介護サービス事業者、介護サービスを受けている要支援者・要介護者にとっては、どのような影響が予想されるか。また、市の介護従事者の充足・離職の現状と、何が課題となっているのか伺う。

▼市長答弁

今回の介護報酬改定は、これまで国が進めてきた

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送られる地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みが現れていると考えている。

施設・在宅介護サービス事業者にとっては、基本報酬が一部減額されるが、職員処遇改善加算などにより職員の安定的な確保や資質向上への取り組みが促進されるものと考えており、要支援者・要介護者にとっては、参加と活動に焦点をあてたりハビリテーションの推進や、看取り期における対応の充実など、利用者本人や家族の意向に基づくケアの実現につながるものと捉えている。

当市の介護従事者の現状については、介護従事者の離職が多くあるが、新たな就職者により充足しているところであり、また、看護師などの専門職と夜勤従事者の確保が課題と捉えている。

